

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院 平成25年度の業務の実績に関する評価結果の概要

1 地方独立行政法人の評価制度

県は、地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院(以下「法人」という。)が5年間で達成すべき目標(以下「中期目標」という。)を定め、これに対し法人は、中期目標を達成するための計画(以下「中期計画」という。)を作成し、中期計画に従って5年間の業務運営を自主的・自律的に行う一方で、法人の業務の実績を第三者機関である評価委員会が事後に評価する制度が設けられました。

評価委員会は、法人が5年間で中期目標を達成できたかを評価することになりますが、各事業年度においても、中期計画の実施状況を評価し、中期目標の達成に向けて順調に進んでいるかをチェックすることになっています。

2 評価結果の概要

全体評価 B(中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる)

S	中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある(評価委員会が特に認める場合)
A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる
B	中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる
C	中期目標の達成のためにはやや遅れている
D	中期目標の達成のためには重大な遅れがある

大項目	評価の内容(特筆すべき点・課題)	
住民サービス等の質の向上	特筆すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新病院の完成に伴い、高度医療機器が大幅に整備されたと評価できる。今後、効率的に活用できるよう努められたい。 ○ 医療相談室を設置するなど、相談体制の充実は評価できる。 ○ CKD(慢性腎臓病)予防に対する取り組みは、全国的にみても地方レベルでの取り組みは少なく、地方都市での連携強化に努力されており、高く評価できる。 ○ 一般市民に向けた公開講座の開催などにより、保健医療などの情報提供や発信に努力している。 ○ 医師不足の中でも飛騨及び中濃医療圏へ人的支援を行うなど、へき地医療に貢献している。さらに医師獲得へ努力されたい。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医師の確保と定着化に向けて引き続き努力されたい。 ○ 産婦人科のクリニカルパスの使用数は増加傾向にあるものの、他科の使用数が増加しておらず、活用に向けて努力されたい。
業務運営の改善及び効率化	特筆すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護部において、煩雑な業務に対する支援が柔軟に適用されている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現中期計画期間中に、公正で客観的な人事制度が構築されるよう努力されたい。 ○ 医師確保に引き続き努力され、新たな施設基準の取得を目指されたい。
予算、収支計画及び資金計画	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経常収支比率 100%が達成されておらず、赤字改善に向けた経営方針・経営計画を策定し、中期計画の達成に努力されたい。
その他	特筆すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新病院を予定どおり完成できたことは高く評価できる。今後、新病院としてのメリットを活かした病院運営を期待したい。